

第30回イオン環境活動助成先決定

環境活動に取り組む94団体に総額9,198万円を助成

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)は、第30回イオン環境活動助成公募の結果、94団体に総額9,198万円の助成を行うことを決定しました。

当財団は、設立以来、生物多様性の保全と持続可能な社会の実現のため、世界各地で積極的に活動している非営利団体への助成を行ってまいりました。今回を含め、これまでの30年間で、累計3,153団体に対し、総額28億7,177万円の助成を行いました。

助成対象となる活動分野は、環境課題の国際的な潮流に即して変更し、今回は「植樹」「里地・里山・里海の保全・河川の浄化」「自然環境教育」「野生生物・絶滅危惧生物の保護」の4つの分野で公募を行った結果、115団体から応募頂き、その中から94団体を決定しました。

当財団は、豊かな自然環境を次代へ引き継ぐため、今後も助成団体の皆さまと連携し、様々な環境活動に積極的に取り組んでまいります。

【第30回イオン環境活動助成 概要】

テ ー マ: 人と自然が育むゆたかな森づくり
 助成金額: 9,198万円
 助成期間: 2021年4月1日～2022年3月31日
 助成団体: 94団体

活動分野	団体名 (活動地域)
植樹	非営利活動法人 モンゴル環境情報センター(モンゴル) 緑の地球ネットワーク(中国) 公益社団法人 秋田県林業育成協会(中国) 特定非営利活動法人 緑化ネットワーク(中国) 一般社団法人 地球緑化クラブ(中国) 特定非営利活動法人 地球市民の会(ミャンマー) 特定非営利活動法人 イカオ・アコ(フィリピン) 特定非営利活動法人 ハロハロ(フィリピン) 特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会(カンボジア) ウータン・森と生活を考える会(インドネシア) マニスファンクラブ(インドネシア) 特定非営利活動法人 VERSTA(ブラジル) ボランティアサザンクロスジャパン協会(マダガスカル) 特定非営利活動法人 Team桜森(北海道) 特定非営利活動法人 白神山地を守る会(青森県) 特定非営利活動法人 白神ネイチャー協会(秋田県) 公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト(福島県) 森びとプロジェクト(福島県、栃木県) 秩父育樹会(埼玉県) 特定非営利活動法人 国際ふるさとの森づくり協会(東京都)

植樹	<p>NPO法人 伊豆未来塾(静岡県)</p> <p>特定非営利活動法人 しずおか環境教育研究会(静岡県)</p> <p>特定非営利活動法人 戸隠森林植物園ボランティアの会(長野県)</p> <p>彦根ブナの会(滋賀県)</p> <p>特定非営利活動法人 霧島ふるさと命の森をつくる会(鹿児島県)</p>
里地・里山・里海の保全・河川の浄化	<p>特定非営利活動法人 中央アジア森林草地保全研究所(タジキスタン)</p> <p>公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター(ラオス)</p> <p>NPO法人 草の根国際協力研修プログラム(タイ)</p> <p>特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議(福島県)</p> <p>森林塾青水(群馬県)</p> <p>特定非営利活動法人 麗潤館(茨城県)</p> <p>特定非営利活動法人 つるがしま里山サポートクラブ(埼玉県)</p> <p>特定非営利活動法人 こびすくらぶ(千葉県)</p> <p>NPO成田さくらの里(千葉県)</p> <p>特定非営利活動法人 しろい環境塾(千葉県)</p> <p>ほたる野を守るNORAの会(千葉県)</p> <p>特定非営利活動法人 ちば環境情報センター(千葉県)</p> <p>NPO法人 草炭緑化協会(千葉県)</p> <p>あびこ谷津学校友の会(千葉県)</p> <p>特定非営利活動法人 アースデイ・エブリデイ(東京都)</p> <p>特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会(東京都)</p> <p>認定特定非営利活動法人 えどがわエコセンター(東京都)</p> <p>横浜自然観察の森友の会(神奈川県)</p> <p>特定非営利活動法人 グリーン成長 桜(神奈川県)</p> <p>特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会(神奈川県)</p> <p>玉縄城址まちづくり会議(神奈川県)</p> <p>NPO法人 海の森・山の森事務局(神奈川県)</p> <p>認定特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパン(静岡県)</p> <p>特定非営利活動法人 自然とオオムラサキに親しむ会(山梨県)</p> <p>鯨城・堀川と生活を考える会(愛知県)</p> <p>「あいちの海」グリーンマップ(愛知県)</p> <p>名東自然倶楽部(愛知県)</p> <p>ホテルこいこいプロジェクト(愛知県)</p> <p>特定非営利活動法人 高蔵寺どんぐりs(愛知県)</p> <p>特定非営利活動法人 ぎふし森守クラブ(岐阜県)</p> <p>認定特定非営利活動法人 森林の風(三重県)</p> <p>巨木と水源の郷をまもる会(滋賀県)</p> <p>NPO法人 愛のまちエコ倶楽部 里守隊(滋賀県)</p> <p>特定非営利活動法人 森林ボランティア 竹取物語の会(大阪府)</p> <p>特定非営利活動法人 泉南の里山を大切に作る会(大阪府)</p> <p>箕面川を美しくする里親の会(大阪府)</p> <p>吉田山の里山を再生する会(京都府)</p> <p>特定非営利活動法人 加茂女(京都府)</p>

<p>里地・里山・ 里海の保全・ 河川の浄化</p>	<p>特定非営利活動法人 うだ夢創の里(奈良県) 行常しあわせの森づくり協議会(兵庫県) 豊島棚田くらぶ(香川県) 特定非営利活動法人 アーキペラゴ(香川県) 和白干潟を守る会(福岡県) ふるさと・夢つむぎネットワーク(佐賀県) 特定非営利活動法人 さがのせき・彩彩カフェ(大分県)</p>
<p>自然環境教育</p>	<p>一般社団法人 名古屋環未来研究所(カンボジア) 特定非営利活動法人 パルシック(マレーシア) NPO法人 大雪山自然学校(北海道) 十和田市名水保全対策協議会(青森県) NPO法人 秋田パドラーズ(秋田県) 猿倉緑の森の会(新潟県) 群馬ナチュラリスト自然保護協議会(群馬県) 日の出ネイチャークラブ(東京都) 特定非営利活動法人 もあなキッズ自然楽校(神奈川県) 山中比叡平里山倶楽部(滋賀県) e-みらっそ環境教育プロジェクト(兵庫県) エコ村伝承館(熊本県)</p>
<p>野生生物・ 絶滅危惧生 物の保護</p>	<p>特定非営利活動法人 サラマンドフの会(ケニア) 特定非営利活動法人 日本オランウータン・リサーチセンター(マレーシア、東京都) 大雪山マルハナバチ市民ネットワーク(北海道) NPO法人 本州産クマゲラ研究会(青森県、秋田県、岩手県) 特定非営利活動法人 水のフォルム(埼玉県) 坂月川愛好会(千葉県) 特定非営利活動法人 エバーラスティング・ネイチャー(東京都) 特定非営利活動法人 サンクチュアリエヌピーオー(静岡県) 特定非営利活動法人 富士山自然保護センター(山梨県、静岡県) 愛知守山自然の会(愛知県、岐阜県、三重県) 里山の山野草を守る会(奈良県) NPO法人 ふくおか湿地保全研究会(福岡県、大分県)</p>

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立され、本年で31年を迎えました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており現在は「イオンの森づくり」・「助成」・「環境教育」・「パートナーシップ」の4事業を中心に、各地域のステークホルダーの皆さまとともに環境活動に取り組んでいます。

＜公益財団法人イオン環境財団ホームページ： <http://www.aeon.info/ef/>>

■イオンの森づくり

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの30年間、世界11カ国で植樹を行い、イオンの累計植樹本数は1,214万本を超えています。

また、「植える」活動に加え「育てる」「活かす」活動にも取り組んでおり、そのひとつがユネスコエコパークとして登録されている宮崎県東諸県郡綾町と連携した森づくりです。伐採時期を迎えて中学校の建設材に活用された町有林の跡地にて植樹を行うとともに、森林を中心とした環境教育にも取り組んでいます。



綾町での植樹(2019年)



植樹地から伐採された木材で建設された綾町立綾中学校



ユネスコエコパークセンターでの環境教育

■イオンの里山づくり

当財団は早稲田大学と、時代に即した環境課題の解決を目指すため、2020年9月に早稲田大学環境総合研究センター内に「AEON TOWAリサーチセンター」を設立しました。本研究所は、双方のこれまでの経験や知見、学術研究を統合し、持続可能な社会の実現を目指し、「地球環境の持続性」「人と生活の持続性」「地域社会の持続性」という観点から新たな「イオンの里山」の構築を目指します。

＜AEON TOWA リサーチセンターホームページ： <http://www.aeontowa.jp/>>

■環境教育

イオン環境財団は、2019年に一般財団法人リモート・センシング技術センターと連携協定を締結し、持続可能な地域づくりの実現に向けリモート・センシング技術を活用した様々な取り組みを実施しています。そのひとつは、環境教育です。これまでリモート・センシング技術を活用した衛星画像データにより、森林減少、地球温暖化など様々な環境問題を把握、理解し、地域の持続的発展のための解決案を考える環境教育を実施してまいりました。

また最近では、植樹後の森の状態を把握するため、綾町にある「綾町イオンの森」にて2020年12月に炭素蓄積量の調査を実施しました。綾中学校1年生64名が参加し、それぞれ位置情報取得可能なタブレットを携えてイオンの森に入り、ドローン観測画像を確認しながら調査対象の樹木を探し、樹種樹高、幹の周囲長を測定してタブレットのアプリに記録しました。調査後、タブレットに記録された測定結果とドローン観測画像から取得した情報を合わせ、森全体の炭素蓄積量を算定しました。本活動を通じて、「測る」ための仕組みと、その情報化、そして森づくりの大切さについて学習しました。



エコプロ2019 ミニ環境教室



炭素蓄積量の調査

*リモート・センシングとは、人工衛星、ドローンなどに搭載した観測機器(センサ)を使い、離れた位置から地球表面等を観測する技術です。植生、土壌や大気の水分量、地表や海面の温度、地表面の変位など地球環境を把握するための様々な情報を得ることができます。